

環境への取り組み

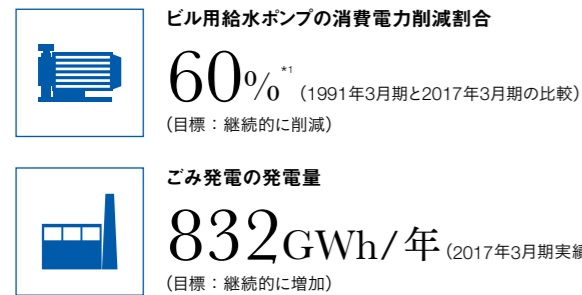
地球規模の気候変動や生物多様性の減少などが進み、私たちの生活や経済基盤である安定した地球環境が損なわれつつあります。荏原グループは、製品の電力使用量を最小限にし最大限の効率を発揮する技術、資源の再生利用技術、温室効果ガスを処理する技術、製品寿命を延ばすための技術といった環境技術を提供することを通じて、地球環境の持続と改善に貢献するとともに事業の拡大を図っていきます。

環境技術へのこだわり

荏原グループが提供する製品には環境へのこだわりがあります。当社グループが、地球温暖化への影響が最も大きい二酸化炭素(CO₂)そのものを減らすことは困難ですが、製品を動かすために必要な電力量を削減していくことで、CO₂を発生させる石油や石炭などの化石燃料の節約に貢献することができま。例えば、ビルやマンションの給水に使われるポンプの高効率化に継続して取り組むことで、使用される電力量の削減を実現しています。また、資源の再生利用の分野にも力を入れており、生活ごみを燃やすだけでなく、有益な資源を回収し、電気を作るごみ焼却施設を作っています。

私たちは製品の提供を通じて環境負荷の低減に取り組むとともに、それによって製品競争力を向上させ、市場での優位性につなげていきます。

データハイライト



*1. ポンプの回転数の制御等による消費電力の削減



ビル用給水ポンプユニットPNEGM型

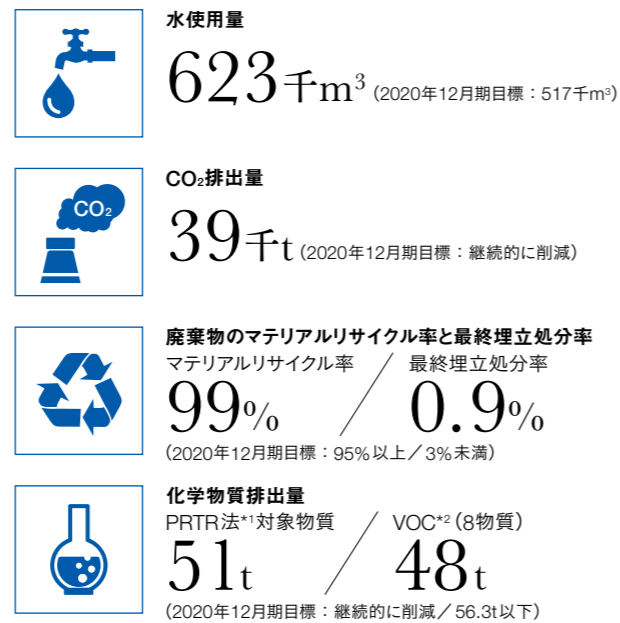


発電設備を有するごみ焼却施設 (武蔵野クリーンセンター)

環境負荷の低減

荏原グループでは、事業活動に伴う環境汚染の予防と環境負荷の低減に継続的に取り組むとともに、水と空気と環境の分野における社会課題の解決や循環型社会の形成に貢献することを目指しており、環境管理の継続的改善はその基盤となるものと考えています。当社グループでは、2020年12月期に向けた中長期「荏原グループ環境目標」を設けており、国内のみならず海外でもその目標に取り組んでいます。

データハイライト



* 対象は荏原製作所および国内連結子会社、ただし電気供給事業を行っている1社は対象外

** 数値は全て2017年3月期

*1. PRTR法：特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律

*2. VOC：Volatile Organic Compounds(揮発性有機化合物)

参照「荏原グループCSRレポート2017」P.13～16 環境への取り組み

<http://www.ebara.co.jp/about/csr/ethics/report/index.html>

社会と私たち

社会との一体性を推進していくことは企業の社会に対する責任であり、この責任を果たすことが、結果として荏原グループの企業価値のさらなる向上につながっていくと考えています。

事業継続プログラムの実施

社員の安全確保と顧客への供給責任を果たすため、大規模災害の発生を想定した訓練など、事業継続プログラムを実施しています。

データハイライト



* いずれも対象は荏原製作所および国内の主要グループ会社

*1. 延べ回数。各営業拠点等で実施した訓練を含む

*2. 安否確認メール発信2時間後の応答率

多様性の確保

多様性のある社会において、社会が求めているものを的確に捉えて事業を発展させるために、違いを尊重し違いの価値を認識した上で、それを組織として取り入れる動きを進めています。

データハイライト

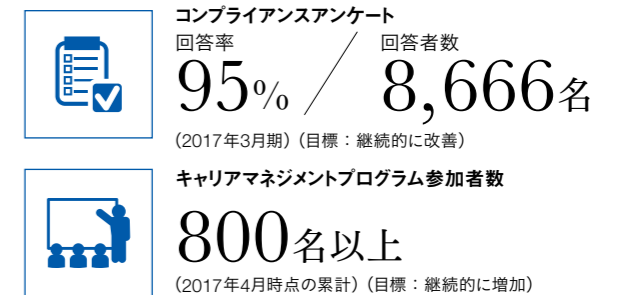


働き方改革の推進

社員の年間労働時間を削減するよう努めるとともに、生きがいを持って仕事ができるように人事制度の改革を進めています。またコンプライアンスアンケートを実施して、社員からの様々

な意見を吸い上げ、改善を進めることで働きやすい企業であり続けることを目指しています。

データハイライト



* いずれも対象は荏原製作所および国内の主要グループ会社

文化・学術・スポーツの後援活動

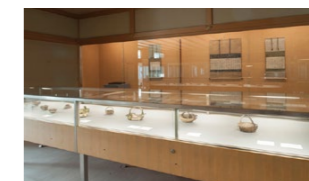
学術・スポーツおよび文化に関わる公益事業を行う「荏原 畠山記念文化財団」等への支援を通じて、利益の社会への還元を幅広く実践しています。



サイエンス・インカレの支援



テニス選手の育成・強化助成



畠山記念館の運営



給付型奨学金等を通じた学生への支援



荏原湘南スポーツセンターで世界に通用するテニス選手をジュニアから養成



メインスポンサーとしてプロバスケットボールチーム「東京羽田ヴィッキーズ」を支援